

事業名	国際競争拠点都市整備事業(公共公益施設整備型)
-----	-------------------------

事業概要

特定都市再生緊急整備地域の名称	名古屋駅周辺・伏見・栄地域	面積	303ha	事業採択年度	平成23年度	全体事業費	589.5億円	事業の上位計画	「名古屋市総合計画2023」 「名古屋市都市計画マスタープラン」 「都市再生緊急整備地域の地域整備方針」
<整備方針> JR・名鉄・近鉄等の広域交通結節点にあり、中部国際空港に直結する名古屋駅周辺地域と、商業・業務機能の集積する栄地区の2核一体の都心部において、リニア中央新幹線の整備を見据え、豊かな公共空間等を活用しながら都市のモビリティを高めるとともに、モビリティ産業に関わる企業・人材や、文化交流を支える都市機能の集積を促進することで、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい、高い国際競争力を発揮する世界的先進地区を形成する。									
補助対象事業									
事業		細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	事業採択年度	完了予定年度	全体事業費
道路の新築又は改築		道路	椿町線街路事業	名古屋市	直	555m	平成12年度	平成29年度	79.4億円
		道路(土地区画整理事業)	ささしまライブ24地区	名古屋市	直	22.1ha	平成11年度	令和7年度	374.5億円
鉄道駅周辺施設の整備		鉄道駅周辺施設	名古屋駅周辺地下公共空間	名古屋市	直	延長:約390m	平成24年度	未定	135.6億円

事業の必要性について

事業を巡る社会経済情勢等の変化	リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋大都市圏の中核都市として圏域をけん引する国際競争力を有する都心部の形成を目指す名古屋駅周辺では、さまざまな開発計画が進められている。ささしまライブ24地区においても、グローバルゲート及び愛知大学等の整備が完了したほか、その他の民間所有の宅地における土地利用も順次開始されてきており、国際的・広域的な拠点機能・交流機能を持った都心部の形成が実現しつつある。こうした状況を踏まえ、名古屋駅、ささしまライブ24地区を中心とした、歩行者空間、道路、公園などの都市基盤整備を早期に進める必要性が高まっている。
-----------------	--

事業の効果や必要性を評価するための指標

評価項目	評価指標	指標チェックの根拠
1. 国際競争力の強化	■ 国際空港等へアクセスする拠点駅へのアクセス性の向上 拠点駅等へのアクセス性の向上が見込まれる。	椿町線の整備により、あおなみ線、JR関西本線、近鉄名古屋線の鉄道下を横断することが出来るようになり、岩井町線、荒子町線から、ささしまライブ24地区及び太閤地区を経由し、名古屋駅太閤通口の交通結節点への直接アクセスが可能になった。
	■ 拠点駅周辺の利便性・快適性の向上 特定都市再生緊急整備地域内における拠点駅を中心とした歩行者ネットワークの利便性や快適性の向上が見込まれる。	名古屋駅周辺地下公共空間の整備により、歩行者が主要な交差点(笹島、下広井町)を横断する必要が無くなるため、信号待ち時間が解消される。また、ムービングウォークの設置により歩行者の快適性が向上する。
	■ 大規模な民間開発との一体的な実施 グローバルな活動を行う企業の立地が見込まれる大規模な民間開発と一体的に実施する事業である。	<大規模な民間開発> グローバルゲート(ホテル、コンファレンスセンター) 愛知大学名古屋キャンパス(グローバルコンベンションホール)
2. 防災機能の向上	■ 地域の安全性向上 避難路、避難地、延焼遮断帯など、防災機能の向上に資する施設整備を伴う事業であり、地域の安全性が向上する。	<名古屋市地域防災計画(令和3年7月修正)に位置づけられた避難路> 避難路:3・3・14椿町線
	■ 施設のBCP対応化 都市開発事業に伴い自立分散型エネルギー施設が整備されるなど、災害時における業務継続に貢献する。	<災害時における業務継続に貢献する施設> グローバルゲート(約48時間運転可能な非常用発電機と燃料等) 中京テレビ放送株式会社新社屋(7日間以上運転可能な非常用発電機と燃料等)
	■ 災害時支援 地域の防災計画に位置づけられた施設がある、または、都市再生安全確保計画等に位置づけられた施設整備を伴う事業であり、災害時の安全確保などに貢献する。	<第3次名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画(令和2年7月一部修正)に位置づけられた施設> 一時退避場所:1号公園(ささしまライブ24土地区画整理事業)、名古屋高速道路高架下広場(ささしまライブ24土地区画整理事業)、 中京テレビ放送株式会社新社屋、愛知大学名古屋キャンパス、グローバルゲート 退避施設:名古屋駅周辺地下公共空間、THE ART GRACE、ロイヤルパークスERささしま、中京テレビ放送株式会社新社屋、 愛知大学名古屋キャンパス 情報伝達施設:中京テレビ放送株式会社新社屋大型ビジョン
3. 都市環境の改善	■ 周辺交通の円滑化 都市開発事業や公共公益施設の整備により、周辺交通が円滑化する。	椿町線の整備により、鉄道敷等による地域分断が解消され、幹線道路のネットワークが強化された。
	■ 施設整備等による快適性向上 公園、広場等の公共用地の整備や街路樹等の施設整備により周辺環境の快適性が向上する。	ささしまライブ24地区の憩いや癒しの場として1号公園を整備した。
	■ 交通安全の向上 歩行者デッキや歩行者通路等の整備により、歩行空間の安全性が向上する。	名古屋駅周辺地下公共空間の整備により、歩車分離が図られ、歩行空間の安全性が向上する。 ささしまライブ24地区の歩行者デッキ(東西、南北デッキ)の整備により、歩行空間の安全性が向上した。
4. その他	■ 事業の効率性 全ての補助対象事業において、便益が費用を上回っている(B/C≧1.0)。	椿町線街路事業(B/C=1.1) ささしまライブ24土地区画整理事業(B/C=1.3) 名古屋駅周辺地下公共空間整備(B/C=1.1)
	■ 上位計画への位置付け 都市再生特別措置法に基づく特定都市再生緊急整備地域の整備計画に位置づけられている。	名古屋駅周辺・伏見・栄地域整備計画
	■ 国家戦略特別区域等の認定 国家戦略特別区域等に含まれている。	指定区域:愛知県
	■ 民間による投資の誘発 民間による投資の誘発効果が大きい事業である。	<民間による開発事業> THE ART GRACE、ロイヤルパークスERささしま、グローバルゲート、愛知大学名古屋キャンパス、中京テレビ放送株式会社新社屋
	■ 事業実施環境 都市計画決定済、または、都市計画手続、環境影響評価手続等の着手に必要な調査が完了している。	<都市計画に関する事項> ささしまライブ24土地区画整理事業 都市計画決定済(H11.8.13) 名古屋都市計画道路3・5・18号日置中野新町線 都市計画決定済(H11.8.13) 名古屋都市計画道路3・2・208号笹島線 都市計画決定済(H11.8.13) 名古屋都市計画道路3・3・14号椿町線 都市計画決定済(H22.12.24)

事業の投資効果、進捗状況

事業名	費用便益比(B/C)	総便益(B)	総費用(C)	進捗率(令和2年度末)	完了予定年度
椿町線街路事業	1.1	80.28億円	75.84億円	100%	平成29年度
ささしまライブ24土地区画整理事業	1.3	257.73億円	198.01億円	97%	令和7年度
名古屋駅周辺地下公共空間整備	1.1	165.01億円	155.22億円	未着手	未定

事業の進捗の見込み

	阻害要因の有無	今後の見通し
椿町線街路事業	無	平成29年度完了。
ささしまライブ24土地区画整理事業	建物移転交渉の難航	中川運河堀止船だまり周辺の建物移転に関しては、計画的に移転が進むように移転補償交渉を行い、日置中野新町を始め、残る都市基盤施設について事業期間内での完成を目指す。
名古屋駅周辺地下公共空間整備	出入口地権者協議の難航	地下公共空間整備は、民地に出入口を設置することから、地権者等関係者との交渉に時間を要しているが、引き続き協議を進め、早期の都市計画決定および工事着手を目指す。

コスト縮減方策・代替案立案について

椿町線街路事業	再生材の利用、発生土の流用等によりコスト縮減を図り、より効率的、経済的に事業を進めた。
ささしまライブ24土地区画整理事業	再生材の利用、発生土の流用等によりコスト縮減を図り、より効率的、経済的に事業を進めていく。また、エリアマネジメントの一環としての定期的な道路清掃(落ち葉清掃等)の実施による維持管理費の削減を検討する。
名古屋駅周辺地下公共空間整備	当施設を整備するにあたっては、整備と維持管理を一体的に発注するPFI方式を導入を予定しており、維持管理を踏まえた効率的・効果的な整備が行われることで、施設の整備から維持管理まで含めた全体経費が抑制されることを見込んでいる。また、ムービングウォークについては、民間からの寄付を募り、整備費に充てることで市のコスト軽減を図る。

地元の意見などその他特記事項

椿町線街路事業	-
ささしまライブ24土地区画整理事業	「ささしまライブまちづくり協議会」において、本格的なエリアマネジメントの実施を検討中。
名古屋駅周辺地下公共空間整備	平成23年度に「ささしまライブ24まちづくり協議会」、「名駅南地区まちづくり研究会」、「名古屋駅地区街づくり協議会」より地下通路の整備要望が提出されている。

対応方針等

対応方針(案)	事業継続 ・ 中止
理由 「国際空港等へアクセスする拠点駅へのアクセス性の向上」、「地域の安全性の向上」、「周辺交通の円滑化」等の、事業の効果や必要性を評価するための指標を十分に満たすため、本事業は名古屋市において「国際競争力の強化」、「防災機能の向上」、「都市環境の改善」を図る上で重要な事業といえる。さらに、全ての補助対象事業において便益が費用を上回っていることから、事業の投資効果が認められるため、事業を継続する必要がある。	